

できることから始めよう! あなたに合った方法は!?

今、世界を変えるために必要なのは市民の力。
それぞれの強みを生かした世界とのつながり方がきっとあるはず。
あなたにピッタリの国際協力にご案内!!

Citizen participation Stage 5



相互の学び合い ～国際協力でみんなが元気に

環境、医療保健、防災…。
実は、共通の課題も多い日本と途上国。
国際協力はもはや、日本→途上国の一方通行ではない。
その知識と経験を共有し合い、
みんなで世界を元気にしていこう。

<CASE>→18ページへGO!

Citizen participation Stage 4



海外でやってみる ～技術・地域の強みを生かして

日本が誇る“職人魂”、地域に伝わるちょっとした“知恵”が、
実は異国の地では大活躍!? 自身が培ってきた技術を使って、
途上国に貢献できる方法を探してみよう。

<CASE>→14、16ページへGO!

Citizen participation Stage 3



国内でやってみる ～学校でできること

子どものころから“世界とつながる”感覚を身に付けてほしい。
グローバル人材の育成を目指して広がる開発教育/国際理解教育。
総合的な学習の時間で、クラブ活動で、途上国について学ぶ学校も増えてきた。
工業高校はものづくり、商業高校はビジネスを取り入れるなどの工夫も。

<CASE>→12ページへGO!

Citizen participation Stage 2



国内でやってみる ～始めの一步

仕事も勉強もあるし、国際協力に“ガッツリ”関わるのは難しい。
でもそこであきらめないでほしい。
インターネット、ソーシャルネットワーク (SNS) の普及で、世界はぐんと身近に。
あなたの生活スタイルに合った関わり方が見つかるはず。

<CASE>→10ページへGO!

Citizen participation Stage 1



知る・学ぶ～情報にアクセス

開発途上国ってどこ? 国際協力って??
海外なんて行ったこともないし、なんだか遠い世界のことみたい…。
それならまず、“知る”“学ぶ”ことから始めてみよう。
JICAの国内機関には関連の情報やイベントが盛りだくさん。
ぜひ一度、足を運んでみては。

<CASE>→8ページへGO!

特集 市民参加

あなたの 世界を変える 一歩が

一昔前までは、ちょっと特別な印象があった国際協力。でもまさに今、そのカタチが変わりつつある。誰でも、いつでも、いろいろな形で…。国境を超えて、ヒトやモノが自由に行き来できるようになったこの時代。海外に行かずとも、インターネットなどを通じて、世界中の「今」に簡単にアクセスできるようにになった。

そして今、私たちの前に立ち上がるのは地球規模の課題。貧困、感染症、環境破壊…。開発途上国で起こっていることの多くは、言わずもがな、回り回って日本の問題でもある。どこかの国での出来事は、決して他人事ではないのだ。

その現状を知り、何かアクションを起こしたいと思う人は少なくないはず。しかし実はずっと前から、日本の「市民」は地道に国際協力の「種」をまき続けてきた。地方自治体、学校、NGO、市民団体、企業がそれぞれの強みを生かし、より良い未来のために奔走してきたのだ。

そしてその種は途上国に根を張り、あちこちで芽吹いている。その一つの象徴と言えるのが、2011年の東日本大震災。この年、世界最大の被援助国となった日本。これまで助けてくれた日本のために何かしたい。一つ一つの思いやりが大きな力となり、私たちが勇気付けたのは記憶に新しい。

奇しくも日本は、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの大災害をきっかけに、世界とのつながりを強めてきた。そして今、国内では「私たちが恩返しする番」と、これまで以上に市民による国際協力の輪が広がりをみせている。子どもから大人まで、北海道から沖縄まで、その力は無限大だ。

あなたの一歩が何かを変えるきっかけになるかもしれない。日本の、世界のために、ぜひその一歩を踏み出してほしい。

写真撮影 Stage1: 久野真一 Stage4, 5: 今村健志朗
イラスト ©Tomacco/iStock Vectors/Getty Images